

2019年
4月10日

第1205号(1963年2月15日第三種郵便物認可)

発行所：女性会議

〒113-0033 東京都文京区本郷2-27-2 東眞ビル5階

TEL 03(3816)1862 / FAX 03(3816)1824

E-mail: onnano-shinbun@ijosei.jp

http://www.joseikaigi.com/

毎月10日・25日発行

月額330円(送料別124円)年間5,448円(送料込)

郵便振替口座 00170-0-99031

さようなら原発全国集会 今も続く原発事故一国と東電の責任逃れゆるすな



李政美さん



人見やよいさん



外間 三枝子さん



阿部 功志さん



3月21日、さようなら原発全国集会(主催「さようなら原発」一千万署名市民の会)が開催され、代々木公園に約1万人が集まった。ステージでは李政美さんの美しい歌声が響き、37団体がブースを出展。女性会議も憲法Tシャツやフラッグなどを販売した。

主催者を代表し鎌田慧さんが挨拶。「原発は、倫理的にも論理的にも破たんしている。自治体で再稼働を認めない動きを作ろう」と呼びかけた。

落合恵子さんは「経産省前アクト広場の渕上太郎さんが亡くなった。今は頑張る、あと何ページかわからない私の人生のページに(安倍退陣、脱原発の)結果を刻みたい。選挙の年だから」と話した。

阿部功志さん(東海村村議会議員)は「40年を超える東海第2原発が運転延長となり、東京電力から日本原電に1900億円支援される。社会正義上許されることではない。加えて、発電したかどうかに関わらず発電する能力(設備)に一定の収入が保障される『電力容量市場』制度を経産省が新設。稼働していない老朽原発にも年110億円が支払われる。国民が電気料金を通じて支払うことになるのに、正しい情報を知らされていない」と語気を強め、こうしたカラクリに多くの人が気づき、声を上げることの重要性を訴えた。

衆議院議員の山崎誠さん(立憲民主党)は、昨年3月に国会に提出した「原発ゼロ基本法案」について、経産委員会では自公が審議拒否し、論議を避けていると報告。廃案にもならず審議継続となっているので、地元議員に(審議するように)声をかけてほしいとアピール。

人見やよいさん(福島原発告訴団)は「あれから8年と終わったかのように言うが、原発事故はずっと続いている」と話を始めた。「今も放射性物質を環境に放出し続けているが、政府は汚染水の放出やモニタリングポストの撤去までしようとしている。理不尽でおかしなことだらけなのに、誰も原発事故の責任を取っていない」といい、刑事裁判で東電元幹部3人の有罪判決を勝ち取り、参院選で原発反対の候補者を当選させようと訴えた。

外間三枝子さん(沖縄・一坪反戦地主会関東ブロック)は「本当は言いたくないが、言わなくてはいけない。さよなら日本、沖縄からそう言いたい。ジュゴンが殺された。空を奪われ、米軍に居座られ、基地がないと食っていけないだろうと言われ続けてきた。自己決定権を取り戻すまで死ぬわけにはいかない」。

◆ 集会後、渋谷と原宿方面に分かれパレードを行ない「原発いらぬ」と大きく声を上げた。